

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第

159号

平成22年7月23日発行

発行人 荻野勝治

編集人 広報委員会

(委員長 町田浩征)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

平成22年度総会で荻野新会長を選出



荻野新会長

平成22年度通常総会が5月27日、さいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開かれました。総会には役員改選案など6議案が上程されました。

議事進行の前にあいさつに立った佐野会長は、4期8年会長職を務めたことに感謝を述べたうえで「(私ども協会員が生き残るには)優秀な人材を育成し経営基盤を強固にすることが重要です。私たちは(不況の)いまこの時こそ一致団結し、優れた技術を以って地域社会に貢献して行かなければなりません」とあいさつしました。

総会議事は岡村副会長(岡村電機)を議長に選出。平成21年度事業報告ならびに同収入・支出決算承認。平成22年度事業計画(案)および同収入・支出予算(案)とともに、新社団法人移行に伴う方針(案)と役員改選が上程され、慎重審議のうえ全6議案が満場一致で可決・承認されました。新会長に就任した荻野勝治会長はあいさつで、「電業協会のさらなる発展のため、微力ながら不撓不屈の精神を以って全力投入していきます」と、力強く新会長の抱負を述べました。

新役員は次の通り。＝敬称略＝

- ▽会長＝荻野勝治(おぎでん・川越市)
- ▽副会長＝島村光正(島村電業・上尾市)
- ▽同＝岡村一巳(岡村電機・さいたま市)
- ▽同＝内山武司(内山電設・川口市)

また、通常総会のあと開かれました通常総会懇親会で、平成22年度優良従業員表彰を行ないました＝写真＝。

表彰選考委員会(委員長・佐野良雄前会長)が決定した今年度の表彰受賞者は、永年勤続者部門20人以上で20人。同10年以上24人。優秀技術者部門8人の52人。このうち優秀技術者部門は県知事表彰、県企業局表彰ならびに県土づくり表彰受賞者が対象となっています。

各部門受賞者を代表して、勤続20年以上で岡村電機の渡辺裕司さん、同10年以上でムサシ電機工業の吉野貴宏さん、優秀技術者で埼玉電設の新島美則さんに佐野委員長から表彰状と記念品が贈られ、その栄誉が称えられました。

各受賞者は次の通り。＝敬称略＝

【永年勤続20年以上】

- ▽岡裕章(浦和電気工事)▽渡辺裕司(岡村電機)

▽小林登志美(小沢電気工事)▽配島孝志(埼玉電設)▽黒沼政雄(佐野電機)▽神谷吉勝(三位電気)▽増田稔(島村電業)▽奥山敏之(関根電気商会)▽村田晃(高山電設工業)▽成川茂(電成社)▽根来利治(東電工業社)▽永瀬正則(中村電設工業)▽佐藤三男(早川電工)▽穴井健二(浜野電設)▽石島義則(万代電気工業)▽若杉浩樹(松本電機)▽小林理恵子(瑞穂電設)▽清水光一(八洲電業社)▽石倉賢一(ヤマト・イズミテクノス)▽石井幸雄(領家電設)

【永年勤続10年以上】

▽日隈真一(旭電気工業)▽杉本美香(内山電設)▽三村雅雄(岡村電機)▽関根由佳(おぎでん)▽田村健太郎(小沢電気工事)▽町田光隆(国益電設工事)▽田崎良憲(埼玉電設)▽萱沼剛(佐野電機)▽森本伸司(三位電気)▽金谷多文(関根電気商会)▽宮川裕一(相馬電業)▽廣田浩三(大広電気)▽河野佳広(高山電設工業)▽前島祥孝(積田電業社)▽芝崎健司(電成社)▽塚原苗美(中村電設工業)▽岡晃司(那須電気工業)▽高山耕司(浜野電設)▽新井慶一(万代電気工業)▽三品貴弘(瑞穂電設)▽吉野貴宏(ムサシ電機工業)▽原純夫(八州電業社)▽落合忍(ヤマト・イズミテクノス)▽森尾泰二(領家電設)

【優秀技術者】

▽新島美則(埼玉電設)＝08南部知的障害養護学校(仮称)普通教室棟改修電気設備工事▽林正之(ムサシ電機工業)＝08南部知的障害養護学校(仮称)管理棟改修電気設備工事▽尾高雄司(東電工業社)＝大久保浄水場北側外灯等電気設備工事▽関浩(電成社)＝18県住川越北谷団地2工区電気設備工事▽細井實(小沢電気工事)＝総技除08大宮武蔵野高校太陽光発電設備設置工事▽高橋秀明(旭電気工業)＝荒川左岸南部流域下水道終末処理場第2自家発電機棟築造電気設備工事▽菅原哲也(沼尻電気工業)＝08こども動物自然公園変電設備改修電気設備工事▽菅原一彦(埼玉電設)＝07不動岡新校(仮称)実習棟新築電気設備工事



52人が栄誉に輝く3部門で優良社員を表彰

「彩の耀」に寄せて



川口市章



川口市シンボルマーク

川口市章

川口市の紋章である市章は、外側三重の円形が「川」を中心の菱形が「口」を表します。旧川口町章ですが、市政施行後の昭和8年9月18日に市章として制定されました。

川口市シンボルマーク

「川口」という文字を、躍動感ある人間の形にデザインしたものです。緑色は、植木の里安行に代表される豊かな緑を。赤色は、伝統ある鋳物などの産業を。青色は、雄大な荒川の水流を表しています。そして、中心の赤い球は、川口市民の元気の象徴です。

川口市長

岡村 幸四郎

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展に一丸となって取り組まれ、社会生活の安定と市民福祉の向上にご貢献いただいておりますことに、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げる次第であります。

現下の我が国経済は、一昨年来の100年に1度とも言われる経済不況を経験し、一部に回復の兆しが指摘されるようになりましたが、長期化するデフレのもと、依然として深刻な雇用情勢など厳しい状況にあり、本格的な高齢社会を目前に、未だに将来への明るい展望が開けない不透明な状況が続いております。しかし、こうした厳しい時代であるからこそ、私たち一人ひとりが与えられた職責、使命を全うし足元を固めしっかりと行動を起こして前進していくことが、何よりも大切であります。

中国の古典に「終身齊家治国平天下」という言葉がありますが、家庭のことも国家のことも先ずは身を修めることから始まります。今日の複雑化、グローバル化した経済活動も突き詰めれば、一人ひとりの行動、あるいは各企業、各業界が業務を遂行された積み重ねに他なりません。社団法人埼玉県電業協会の皆様の専門的な知識と長年に渡る経験に裏打ちされた技術により、地域の経済活動、市民生活に欠かせない電気に関するインフラを緑の下で支える貴い活動は、この教えに相通じるものであり、改めて敬意を表する次第であります。

さて、私は今、時代は大きな転換点にあるとの思いを強くしておりますが、時代がどのように変わろうとも、私ども行政の使命を一言で述べるならば、市民の皆さん

が住んでいる「自分たちのまち」に対する満足度を、いかに高めるかに尽きると思います。昨年12月に、本市が実施した市民意識調査によりますと、川口に住み続けたいと答えた市民は、一昨年の前回調査より0.6ポイント増えて83.2%となり、逆に、住み続けたくないと答えた市民は前回調査時の21.9%から今回は10.3%へと大きく減少しております。これはとりもなおさず、本市が取り組んできた市民満足度を高める施策に対し、一定の評価がなされたものとも思われますが、私はこれに甘んずることなく、更に高い評価をいただけるよう全力でまちづくりに取り組んで参りたいと存じます。

本市は、本年4月より、市の最上位計画である第4次川口市総合計画をスタートさせたところであり、その計画の柱に「安全・安心なまち」「市民が活躍できるまち」「産業が息づくまち」「地域の特色を活かしたまち」「緑の豊かなまち」「自立した自治体運営を進めるまち」の6つのめざすべき姿を掲げ、本市の将来都市像である「緑 うるおい 人生き活き 新産業文化都市 川口」の実現に向けて、「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と実感できる「ふるさと川口」のまちづくりを全力で進めて参りますので、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のますますの発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、あいさついたします。

新入社員研修

自分磨きに30人
新入社員研修会を開催

事業要

平成22年度新入社員研修会が4月5日から3日間の日程で、建産連会館で開かれました。

第1日目は『早期戦力化のためのビジネスベーシック』。第2、3日目には『労働安全衛生法に基づく雇入れ時安全教育』のカリキュラムが組まれ、30人（14社）の受講者は真剣に講義を受けていました。今回の研修会を企画した同協会の岡島光孝企業対策委員長は、「各企業の大きな即戦力になるため、また自分磨きのため今日から3日間しっかり勉強して、第一線で活躍されることを期待します」と受講生に心構えを伝えました。

開校式で、佐野会長は「私たちを取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。今日参加の皆様が持つ使命感と希望をもって、このピンチをチャンスと捉え頑張ってください。現場は安全と危険が背中合わせです。今日から

マナーや作業工程さらには安全衛生までを自分のものとするよう、充実の3日間にしてほしい」とあいさつしました。

研修初日は、雇用・能力開発機構埼玉センターの井島鈴子講師が担当。プロ意識の確立を目的とし、マナー・エチケットの重要性を知り対人能力を高めるため、ロールプレイングを交えながら講義しました。

2日目と3日目は、ケイ・教育企画サポート事務所の小泉一夫氏が講師を務め、新入社員が従事するであろう業務に関する安全又は衛生のために必要な事項についての教育を行いました。閉講式では修了証として安全衛生手帳が手渡されました。



30人が受講した今年度の研修会（写真中央は挨拶する佐野会長。左は岡島委員長）。

1級電気工事施工管理技術
検定試験受験準備講習会講習会に22人参加
学科コースは5回開催

内山武司技術研究委員長

技術研究委員会は4月21日、さいたま市の建産連会館を会場に、第1回目の1級電気工事施工管理技術検定試験の準備講習会を開きました。

今回の講習会は、6月に行なわれる（国家）試験に対応する学科コースで、会員企業から22

人が受講しました。

講習会を企画した技術研究委員会の内山武司委員長（内山電設＝川口市）は、「今回受講する皆さんには全員合格して頂きたい。そのためには今日を含め（講習会）全5回を欠席しないことに加え、予習・復習を必ず行なう

ことです。試験内容は年々難しくなっているが、将来的に絶対必要な資格なのでスキルアップのためにもしっかりと受講し、万全の体制で試験に臨んで下さい」とあいさつしました。

5日間の講習では、模擬試験と個人指導が繰り返行われました。この講習により22人の受講生は、個々の弱点克服と実践力を養い、全員合格を確実なものにしています。



1級技術者を目指す講習生

合同講習会

国交省招き講習会
22年度入札・契約方針で県電業協会・県
空衛調協会共催

荻野会長

当協会は、（独）埼玉県空調衛生設備協会と共催で6月7日、国土交通省関東地方整備局より講師を招き『平成22年度入札契約方針について』をテーマとする講習会を、さいたま新都心のホテルブリランテ武蔵野で開きました。

講師を務めたのは、同整備局営繕部技術・評価課の湯本文雄課長で、講習内容は平成22年度入札・契約手続きの実施方針等についてと入札公告等について、それぞれ丁寧に説明しました。

講習を前に両協会を代表して荻野勝治電業協会会長は、「本日の講習内容は適正価格受注へ向けてのヒントが十分に詰まっています。私ども両協会は厳しさを増す今、一致団結するとともに率先して優れた環境づくりをして行かなければならないので、実りある勉強

会にして下さい」とあいさつしました。

講習内容は『平成22年度入札・契約手続きの実施方針について』では①「品格法」及び「総合評価方式」について②平成22年度入札契約の実施方針について③受注者のコミュニケーションに関する取り組みについて④工事の重点的安全対策等について——の4項目。

一方、『入札公告について』では①関東地方整備局における総合評価落札方式の適用ガイドライン（平成21年度版）について②標準Ⅱ型入札公告・入札説明書について③簡易型入札公告・入札説明書についての以上3項目が約2時間の中に内容が濃く盛り込まれ、参加した両協会員は真剣にメモを取っていました。

最後に質疑応答の時間が設けられました。参加者から「基幹技能者」について質問が出されました。これについて、湯本課長は「現在は土木工事で実践されている」とした上で「営繕工事についてはこれから検討されていくのではないかと」答えをとどめていました。

これからの協会運営を担っていく新役員



正・副会長、各委員長からのメッセージ



会長 荻野 勝治
(株おぎでん/西部支部)

先の総会において歴史と伝統を持つ(社)埼玉県電業協会第6代目の会長を拝命致しました荻野でございます。

浅学菲才な私ですが、不撓不屈の精神を持って取組んで行きたいと思っております。前任者の佐野会長同様、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

今期は理事15名の内5名の新進気鋭の理事を迎え入れて、新たな時代を見据えた事業に取組んでまいりたいと思っております。そして、会員の皆様から「電業の会員で良かった」、「電業に入会して最高だ」と言われる様な、誇りの持てる、そんな協会を目指して行きたいと思っております。私は、企業人として、『社会貢献とはなんぞや』を考えた時に、切磋琢磨の中から利益を出して、税金を納めるのが社会貢献の原点だと思っております。でも、税金を納めたいが、納める社会環境が整っていない。仕事があっても、利益を出せるような仕事内容ではないのが現状です。

でも、そんな未曾有の時代と言われる中にも、職種は違いますが、増収・増益の企業もあるわけで、そんな企業オーナーの意識調査データを見ますと、非常識で異端児の人が少なくないと言われております。私は、異端児商法が全て良いとは思いませんが、変化の激しい現代に対応する為には、まともな考えでは「ダメ・ダメダゾー」、奇抜なアイデアと画期的な手法を取り入れて、創意工夫をする事はとても重要な事だと思います。儲けるための突破口は、何処かに潜んでいるはずです。その突破口を会員の皆様で英知を出し合って模索して行きたいのです。

<電気、元気、やっぱり電気だ>と言われるような、そんな電業協会を目指したいと思っております。

**副会長 島村光正(島村電業株)／東部支部**

平成6年より理事に任命いただき、早いもので17年目となりました。

改めて、歴代会長はじめ、先輩各位が、その時々時代変化に対応しながら、確たる協会運営にあたられてこられたことに敬意を表します。

こうした事業を伝承しつつ、変わりゆく環境に対応しながら、協会員として、より充実した、有益で、会員の存在価値をより高められますよう、微力ですが、企画・提案をしていきます。

会員の皆様からのご意見、ご要望をお待ち致しております。

**副会長 岡村一巳(株岡村電機)／さいたま支部**

引き続き副会長を仰せつかりました岡村と申します。インターネットの普及に合わせ指名競争入札から一般競争入札が当たり前の時代になりました。そして、公益法人制度改革により当協会是一般社団法人への道を選択しました。

こんなに変化の激しい時代に、会員にとって必要とされる協会であるために、荻野会長をしっかりと支え、「入っていて良かった電業協会」を目指していききたいと思います。

**副会長 内山武司(内山電設株)／南部支部**

今、新公益法人制度の改正を目前に控え「社団法人埼玉県電業協会」は荻野新会長のもとで大きく変わろうとしております。

『協会はどう在るべきか』が問われる大きな転換期にあると認識しております。この度の総会において、新進気鋭の若い役員が多数選出され、彼らの斬新な発想と行動は今後の協会運営に大きな役割を果たしてくれることと確信し、期待をしております。

この度、副会長を命ぜられました。会長の補佐として微力を尽くせればと考えております。今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

**総務委員長 山口 裕(株電成社)／西部支部**

各関係者及び会員の皆様におかれましては、総会での御協力ありがとうございました。

平成22年度の総会にて、新荻野会長体制となり、例年にないほど新しく、若い力である理事が誕生しました。

私も新総務委員長に任命され、身の引き締まる思いと会員の皆様により魅力ある協会運営の為、新体制をバックアップしていく所存でありますので、宜しくお願い致します。

**事故防止対策委員長 古小高収(相馬電業株)／西部支部**

永年、監事という役から協会事業を見させていただきましたが、今回、事故防止対策委員長の拝命を受け、真摯に且つ前向きに取り組んでいこうと思っております。この委員会は、社会的責任が問われる私たち企業に対して、職場はもちろん地域においても、安全・安心へ結び付ける要の事業を行っています。これから、安全大会・災害復旧対策講習会をはじめ委員会事業が、皆様の自助・互助の一躍となりますよう充実した活動をと考えております。

**企業対策委員長 熊田弘信(株大広電気)／東部支部**

企業対策委員会では、平成22年度事業計画に基づき事業の執行を行います。

『経営者セミナー』では、雇用問題、改正労働基準法について、『企業対策セミナー』では、不況を乗り切るための経営思考について、をテーマに検討しております。新たな事業として、国及び県から受けられる助成金制度についての調査研究を行い、会員企業に有用な情報の提供を行って参りたいと思います。また、従来実施してきた担当事業内容についても、必要に応じて見直しをしていきたいと考えております。大変厳しい予算の中での事業執行なので、会員各社に更なるご協力をお願い申し上げます。

**広報委員長 町田浩征(国益電設工事株)／さいたま支部**

このたび、新任で理事及び広報委員長に選ばれました国益電設工事株 町田です。皆様の指導・意見をいただきながら、読みたくするような広報誌『彩の耀』の作成を目指し、頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。また、他の委員会との連携を図りながら、HPも大いに活用した広報活動を行っていきたく思いますので、所属委員会に関係なく、ご協力をよろしくお願いいたします。

**技術研究委員長 小林弥寿弘(熊谷電機株)／北部支部**

私達電気工事業者にとって不可欠な資格がたくさんあります。電気工事士、施工管理士、消防設備士、更には基幹技能士等。又、総合評価方式による施工計画の書き方など常に最新の知識が求められています。技術研究委員会では、各種講習会を行い会員同士のスキルアップを目指したいと思います。会員各位のご意見ご協力を頂き、新役員としてその一助となれと思いますので、宜しくお願い致します。

**人材育成委員長 川合昭(埼玉電設株)／さいたま支部**

人材育成委員会は、電設業界にとっての主要課題であります“人材確保や育成に関する事項”に特化し、委員会の枠を越え積極的に活動を行ってまいります。

「厳しいときに人は育つ」と申します。社会を取り巻く環境が厳しいとされる今こそ、積極的に人材を採用し「人材から人財へ」と成長させていくチャンスと考えます。

会員企業各社並びに関係各位にはご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

協会のうごき

4月

5日 新年度県庁挨拶回り
 5～7日 平成22年度新入社員研修会
 13日 第1回理事会
 21日 1級電気工事施工管理技術検定試験
 準備講習会学科コース1/5
 23日 人材育成委員会
 26日 決算監査
 28日 1級電気工事施工管理技術検定試験
 準備講習会学科コース2/5

5月

12日 第2回理事会
 1級電気工事施工管理技術検定試験

準備講習会学科コース3/5
 19日 1級電気工事施工管理技術検定試験
 準備講習会学科コース4/5
 21日 人材育成委員会
 26日 1級電気工事施工管理技術検定試験
 準備講習会学科コース5/5
 27日 第3回理事会
 平成22年度通常総会(第4回理事会)
 ・懇親会

6月

7日 平成22年度入札契約方針等説明会
 (国土交通省関東地方整備局営繕部)
 国交省挨拶回り

9日 県関係挨拶回り
 15日 第5回理事会・全体会議
 18日 人材育成委員会
 25日 安全大会

7月

6日 第1回技術講習会
 7日 役員会
 20日 第1回常任理事会
 26日 春季三県連絡会議【神奈川県当番】

8月

25日 経営者セミナー

(社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (15社)

旭電気工業(大宮区)
 浦和電気工事(南区)
 大塚電設(浦和区)
 ◎株岡村電機(緑区)
 ○国益電設工事(南区)
 ○埼玉電設(中央区)

〔さいたま市〕



三洋電設(南区)
 新生電気工事(見沼区)
 竹内電気(岩槻区)
 株積田電業社(浦和区)
 中村電設工業(見沼区)
 浜野電設(北区)
 株万代電気工業(桜区)
 瑞穂電設(北区)
 株八洲電業社(北区)

東部支部 (10社)

株内田電気商会(久喜市)
 株大久保電気(越谷市)
 株三進電気工事(上尾市)
 島村電業(上尾市)
 株新電気(三郷市)
 ◎株大広電気(八潮市)
 太洋電設工業(越谷市)
 株高岡電気工業(松伏町)
 ○野口電気工事(越谷市)
 株弓木電設社(白岡町)

西部支部 (16社)

株新井電機(飯能市)
 飯島電器工事(川越市)
 株市之瀬電設(志木市)
 ◎株岡島電気商会(川越市)
 株おぎでん(川越市)
 熊田電気工事(狭山市)
 株三共電気商会(和光市)
 株関根電気商会(川越市)
 相馬電業(和光市)
 株電成社(川越市)
 橋電(所沢市)
 株橋本電工(所沢市)
 浜田電機(坂戸市)
 ○フジヤ電気工事(川越市)
 株松本電機(和光市)
 株ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (11社)

内山電設(川口市)
 株奥富電気工事(川口市)
 川島電気(川口市)
 株佐久間電設(川口市)
 佐野電機(川口市)
 ◎三位電気(川口市)

高山電設工業(川口市)
 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
 ○釣谷電機(川口市)
 那須電機工業(川口市)
 領家電設(川口市)

北部支部 (16社)

イーテクノス(熊谷市)
 株エコー(深谷市)
 岡根電気工事(本庄市)
 小沢電気工事(行田市)
 共和電機(秩父市)
 ◎熊谷電機(熊谷市)
 株栗原電機(深谷市)
 霜田電気(皆野市)
 中外電気工業(深谷市)
 株東電工業社(熊谷市)
 株長井電機(熊谷市)
 株沼尻電気工事(深谷市)
 株早川電工(行田市)
 ○松山電設(東松山市)
 ムサシ電機工業(行田市)
 ○株躍進電気(深谷市)

雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

〈雇用開発業務〉

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

〈能力開発業務〉

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164〔建設労働・財形担当〕

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8